

第48回日本精神病理学会

場と精神病理

プログラム・抄録集

会 期 2025年10月24日（金）～25日（土）

会 場 水戸市民会館

〒310-0026 茨城県水戸市泉町 1丁目7-1

電話番号：029-303-6226 HP：<https://www.mito-hall.jp/>

大 会 長 佐藤 晋爾（筑波大学 茨城県地域臨床教育センター）

副大会長 新井 哲明（筑波大学医学医療系 精神医学 教授）

堀 孝文（茨城県立こころの医療センター 院長）

総 会 HP：<http://pspa48th.umin.jp/>

主 催 日本精神病理学会

総会事務局

担当：富田 悦子（筑波大学 茨城県地域臨床教育センター）

筑波大学 筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 茨城県立中央病院内

Tel：0296-77-1121 総会専用 e-mail：48thjppc@gmail.com

第48回 日本精神病理学会開催にあたって

本大会を筑波大学主管で開催させていただくのは、2003年第26回大会から22年ぶりになります。中谷陽二先生のもと、筑波大学精神保健グループの先生方のご尽力で行われました。当時のプログラムを見直すと、木曜日から2日間の開催で、特別講演2つ、シンポジウム1つ、そして一般演題が55演題もあります。このころはランチョンセミナーがなく、協賛3社、広告7社で学会運営業者も入っていなかったようです。

さて今回は。

何をやってもお金がかかる世の中になったものの、私の人望のなさでランチョンセミナーは全く企業からの協賛もあまりありません。同門の先生方からのご援助でなんとか算段がつけました。運営業者なしで私と秘書で下準備をすべて行い、大会当日は勤務している病院の看護師の皆さんに助けていただきます。文字通り素人運営ですので、何かと行き届かないこともあるかと思いますが、ご容赦くださいませ。

バックヤードの話はこれくらいにして、大会のお話を。

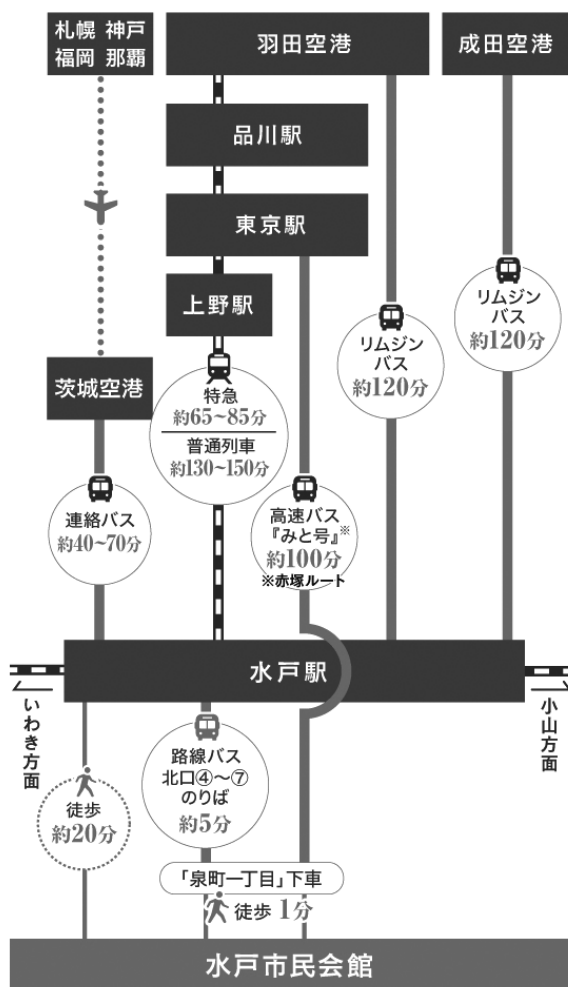
今大会は、私自身が知りたいことをそのままテーマ、シンポジウムにさせていただきました。他方で、今大会はディスカッションが精神病理学的視点に至らないのではないかという懸念もあります。そのようなお叱りを受けるようであれば、それは私の精神病理学的マインドの未熟さゆえで、すべての責任は私にあります。

そこで今回は、特別講演・教育講演として、九州大学の蓮澤優先生、秋田県立大学の鈴木祐丞先生、明治大学の高山花子先生をお招きいたしました。フォーコーと精神医学、キルケゴールの考える絶望、そしてブランショと対話、各先生のご講演を通じて、本大会が精神病理学会としての深みと広がりを感じられる場になることを願っております。

無謀な企画で、シンポジストの先生方にご無理なことをお願いしてしまったのではないかという不安を抱えつつも、精神病理学に新たな可能性が見出されることができたら——それが今回の私のささやかな願いです。

第48回日本精神病理学 会長 佐藤 晋爾

会場へのアクセス



JR東京駅から

品川駅、東京駅、上野駅方面からお越しの方

バス 高速バス

『みと号』（赤塚ルート）にて約100分、
「泉町一丁目」下車、徒歩1分

特急

常磐線『ひたち』・『ときわ』
約65分～85分

普通列車

常磐線 約130分～150分

JR水戸駅から

路線バス

北口（4～7番のりば）から約5分、
「泉町一丁目」下車、徒歩1分

徒歩

約20分

自転車

水戸駅北口のステーションから15分以内、70円



お車利用の方



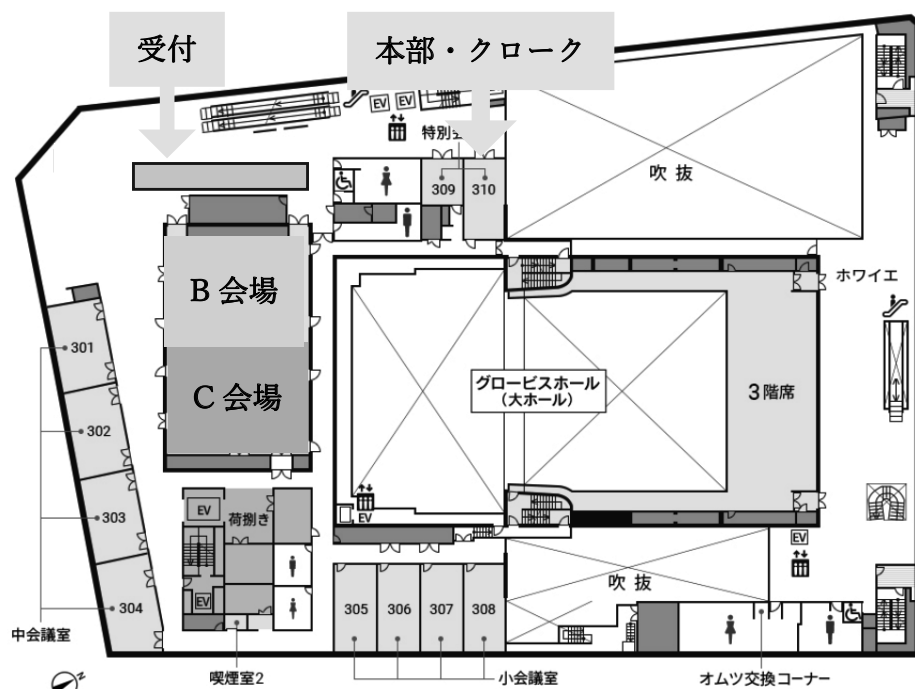
近隣・周辺の駐車場をご利用下さい。

- ・ 近隣の市営駐車場（有料）
 - ・ 五軒町立体駐車場（水戸芸術館東側）283台
 - ・ 五軒町地下駐車場（水戸芸術館地下）217台
- ・ 周辺の有料駐車場（500m圏内に約4,600台）
- ・ 敷地内に駐車場（87台）

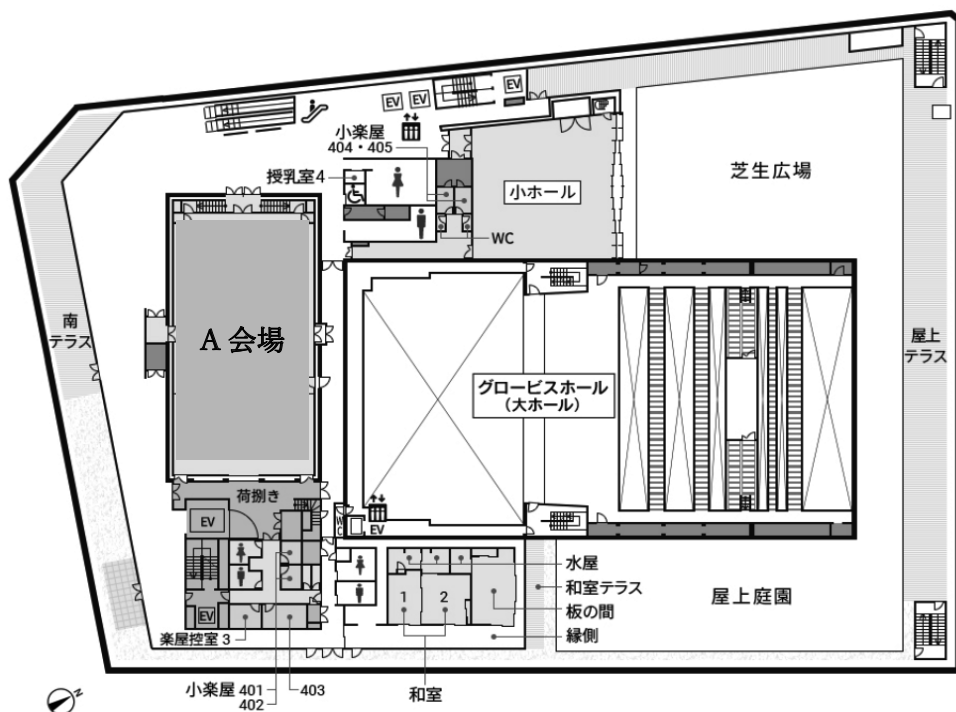
市民会館には駐車場はありません。



会場案内



3 階



4 階

ご案内とお願い

学会参加の皆様

1. 参加受付（総合受付）

日時 10月24日（金） 8：20～18：20

10月25日（土） 8：20～15：30

場所 水戸市民会館 3階エレベーター前（B会場前）

（開場は8：00予定）

2. 学会参加費

会 員：10,000円

非 会 員：12,000円

医師以外： 5,000円

学 生： 2,000円 *申込時、学生証の提示をお願いします。

- ・ 当日のお支払いは現金のみとなります。お釣りの出ないようご協力願います。
- ・ 参加は業務上守秘義務を課されている方に限ります。
- ・ 非会員の方は職種を証明できる身分証等をご持参ください（例：精神神経学会員証）。また、医師・看護師・公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士など以外の、守秘義務を有していない非会員参加者の方は、本会で知りえた個人情報を外部には漏らさない旨の誓約書に署名して受付に提出ください。
- ・ ご参加の皆様は受付をお済ませいただき、ネーム・カードに所属・氏名をご記入のうえ、会期中は必ず明示するようにお願いします。
- ・ ネーム・カードをお持ちでない方、参加登録がお済みでない方の会場内への立ち入りは固くお断りいたします。参加登録証の再発行はできませんので、大切に保管してください。

*なお水戸市観光協会に報告提出のため、水戸市内にご宿泊なさっている場合、ご宿泊先施設名を伺うことがありますのでご容赦ください。同情報は、水戸市観光協会に提出後、事務局が責任をもって処分いたします。

3. 会員の方は事前に郵送されたプログラム・抄録集をご持参ください。

プログラム・抄録集 1部 2,000円 当日会場販売分
数に限りがありまのでご了承下さい。

【専門医更新ポイント】

研修ポイント取得対象学会（B群、単位対象セッションの受講で最大3単位）に認定されています。登録はQRコードを当日に配布し、各自で行っていただく予定ですが、念のため、日本精神神経学会会員カードもご持参ください。

【臨床心理士資格認定更新ポイント】

本大会は、臨床心理士資格認定ポイントを申請いたします。申請要件に「5時間以上の参加証明」「参加者の30%が資格保有者」であることが求められています。したがって以下の点にご協力ください。

- 1) 受付時に臨床心理士資格をお持ちの方は臨床心理士資格証のご提示、または番号をご教示ください（特に医師とのダブルライセンスの方はご協力ください）。
- 2) プログラムに申請指定の講演、シンポジウムを記載しております。指定プログラム終了後に証明書をお渡ししますのでお申し出ください。
- 3) 臨床心理士資格参加者が少数だとポイント申請が認められない可能性もありますので、その点をご容赦ください。
- 4) 要件が満たされたか否かについては本総会 HP および学会 HP でご連絡いたします。証明書は各自で保管をお願いします。会期終了後の再発行はいたしません。

関連行事

- | | | |
|---------|-------------------------|-------------|
| 1. 理事会 | 10月23日（木） 18時15分～20時50分 | 中会議室302 |
| 2. 評議員会 | 10月24日（金） 12時40分～14時10分 | 中会議室303+304 |
| 3. 総会 | 10月25日（土） 12時～ | A 会場（中ホール） |
- 優秀発表賞 研修医演題の中から優れた発表1演題に授与いたします。
- | | | |
|----------|----------------------------------|---------|
| 4. 編集委員会 | 10月25日（土） 17時～19時 | 小会議室306 |
| 5. 懇親会 | 会員のみなさまの交流のため開催いたします。奮ってご参加ください。 | |
| | 10月24日（金） 18時30分～20時（予定） | |
| | 水戸市民会館 展示室 A（2階） | |
| | 会費：7,000円 | |

発表者の皆様方

発表は、Power Point を用いた PC プレゼンテーションに限ります。

原則、会場に用意する PC を使っていただくこととします。

会場の PC 動作環境：Windows11 PowerPoint: Office2013以降

スライドの枚数制限はありませんが、発表は時間厳守でお願いします。

一般演題は1演題につき**25分（発表18分＋質疑応答7分）**です。

症例提示のある方は、倫理面への配慮（匿名化を十分に行う等）をお願いします。

前の発表が始まるまたは、発表10分前までに「次演者席」にご着席ください。

1. 発表データについて

- ・ PC 受付は原則として設置しません。当日までに学会事務局にスライドをお送りください。ただし、ファイルのバックアップを必ずお持ちください。
- ・ データファイル名は「演題番号氏名」でお願いします。（例：A-3筑波たろう.ppt）
- ・ OS に標準インストールされているフォントをご使用ください。
- ・ 動画・音声がある際、受付にお申し付けください。動作確認させていただきます。
- ・ データは最新のウィルス駆除ソフトでチェックをお済ませください。
- ・ ご自身の PC をお使いの場合の、接続・動作はすべてご自身でお願いします。
- ・ 発表は演題上のキーボードまたはマウスで演者をご自身で操作してください。
- ・ 倫理性に配慮し守秘義務を順守してください。COI について日本精神神経学会の指針に順じ、冒頭スライドに開示してください。
- ・ 発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトしてご持参ください。
- ・ お預かりしたデータは事務局で責任をもって消去いたします。
- ・ マッキントッシュは水戸市民会館では使用できません。 Windows への convert をおねがいします。

2. 発表要旨提出について

- ・ 発表要旨は「臨床精神病理」に掲載されます。
- ・ 特別講演、教育講演

MSWord 形式で8000文字以内です。締め切りについては「臨床精神病理」編集委員から演者の先生方にご連絡さしあげます。

- ・ 一般演題発表者の方は、MSWord 形式で要旨を1000文字以内（演題名、氏名、

所属含む) にまとめていただき、メールに原稿を添付のうえ、下記にお送りください。

締め切り：2025年11月30日（厳守）

送付先：E-mail okabe@seiwa-pb.co.jp

〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1-25 星和書店「臨床精神病理」

担当 岡部

TEL：03-3329-0033 FAX：03-5374-7185

座長の皆様方

1. 集合時間

座長の方は、ご担当セッション開始10分前までに次座長席におつきください。

2. 進行

各会場にタイム・キーパーはおりません。セッションの時間差配は座長の先生方に一任いたします。一般演題の発表時間は**25分です**（口演17分、質疑応答8分）。

その他

1. クローク

特別会議室310でお預かりします。タグを紛失なさないようにお願いします。
またお引き取り時に、必ずご自身の荷物かご確認をお願いします。

日時：10月24日（金） 8時30分～18時30分

10月25日（土） 8時30分～17時30分

2. 館内放送でのお呼び出しは致しかねますのでご了承ください。

3. 落とし物・忘れ物について

受付にて管理しますので、お心当たりのある方は受付にお越しくください。

学会会場での録音、録画、撮影は固くお断りします。

第48回日本精神病理学会日程表

1 日目：10月24日（金）

	A 会場 中ホール	B 会場 大会議室	C 会場 大会議室
8:00	開場・受付		
9:00	8:50 開会のあいさつ 9:00～10:00 会長講演 場と精神病理 演者：佐藤 晋爾 座長：井原 裕		
10:00	10:10～12:40 シンポジウム 場と精神病理 演者：芝 伸太郎 滝上 結之 小島 秀吾 古橋 忠晃 座長：野間 俊一 田中 伸一郎	10:10～11:00 一般演題 B-1 B-1-1～B-1-2 研修医演題 座長・コメンテーター：熊崎 努	10:10～11:00 一般演題 C-1 C-1-1～C-1-2 精神病理学と宗教 座長：菅原 一見
11:00		11:10～12:00 一般演題 B-2 B-2-1～B-2-2 研修医演題 座長・コメンテーター：堀 孝文	11:10～12:00 一般演題 C-2 C-2-1～C-2-2 先行議論の批判的展開 座長：西岡 和郎
12:00			
13:00	12:40～ 休憩		
14:00	14:10～15:20 特別講演 自己治療的主体の誕生 ——初期フーコーにおける人間学的精神病理学 演者：蓮澤 優 座長：佐藤 晋爾		
15:00	*		
16:00	15:30～18:00 シンポジウム 器質と精神病理 演者：尾久 守侑 船山 道隆 小松崎 智恵 深尾 憲二郎 座長：兼本 浩祐 玉田 有	15:30～16:20 一般演題 B-3 B-3-1～B-3-2 精神病理学の新しい方向性 座長：前田 貴記	15:30～16:20 一般演題 C-3 C-3-1～C-3-2 精神療法を考える 座長：野間 俊一
17:00		16:30～17:20 一般演題 B-4 B-4-1～B-4-2 精神病理学と治療の接点 座長：赤崎 安昭	16:30～17:20 一般演題 C-4 C-4-1～C-4-2 精神病理学と哲学の接点 座長：岡 一太郎
18:00		17:30～18:20 一般演題 B-5 B-5-1～B-5-2 古典再訪 座長：大塚 公一郎	17:30～18:20 一般演題 C-5 C-5-1～C-5-2 木村敏と中井久夫 座長：岩井 圭司

注：プログラムで*がついているのが、臨床心理士資格ポイント申請中の講演です。

第48回日本精神病理学会日程表

2日目：10月25日（土）

	A会場 中ホール	B会場 大会議室	C会場 大会議室
8:00	開場・受付		
9:00	9:00～9:50 一般演題 A-1 A-1-1～A-1-2 統合失調症の精神病理 座長：古来 大樹	9:00～9:50 一般演題 B-6 B-6-1～B-6-2 自閉症スペクトラム症再考 座長：芝 伸太郎	9:00～9:50 一般演題 C-6 C-6-1～C-6-2 心と魂 座長：林 直樹
10:00	10:00～10:50 一般演題 A-2 A-2-1～A-2-2 精神療法の新たな展開 座長：十川 幸司	10:00～10:50 一般演題 B-7 B-7-1～B-7-2 自閉症スペクトラム症の精神病理 座長：清水 光恵	10:00～10:50 一般演題 C-7 C-7-1～C-7-2 神経症圏 / 治療 座長：西依 康
11:00	11:00～12:00 教育講演 たったひとつの、複数の声 ——モリス・ブランショと匿名者の問題 演者：高山 花子 座長：加藤 敬 *		
12:00	12:00～ 総会		
13:00	13:00～14:00 教育講演 キェルケゴール、ニーチェ、太宰治 ——「絶望」との向き合い方 演者：鈴木 祐丞 座長：佐藤 昌爾 *		
14:00	14:10～17:00 シンポジウム 歴史的鑑定事例から学ぶ 第3回 附属池田小事件 演者：山崎 信幸 深尾 憲二朗 吉岡 隆一 中安信夫、関由賀子 座長：堀 孝文 関 由賀子 *	14:10～15:00 一般演題 B-8 B-8-1～B-8-2 統合失調症の症候学 座長：古城 慶子	14:10～15:00 一般演題 C-8 C-8-1～C-8-2 精神病理学の方法論をめぐって 座長：大前 晋
15:00		15:10～16:00 一般演題 B-9 B-9-1～B-9-2 統合失調症の精神病理（2） 座長：針間 博彦	15:10～16:00 一般演題 C-9 C-9-1～C-9-2 精神療法と精神病理 座長：小林 聡幸
16:00		16:10～17:00 一般演題 B-10 B-10-1～B-10-2 統合失調症と治療 座長：川上 正憲	
17:00	17:05 閉会のあいさつ		
18:00			

注：プログラムで*がついているものが、臨床心理士資格ポイント申請中の講演です。

プログラム

1日目 10月24日(金) A会場 中ホール

開会のあいさつ

8:50

会長 佐藤 晋爾 (茨城県立中央病院・筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター)

会長講演

9:00~10:00

座長: 井原 裕 (獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科)

場と精神病理

佐藤 晋爾 (茨城県立中央病院・筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター)

シンポジウム

10:10~12:40

場と精神病理

座長: 野間 俊一 (のまこころクリニック)

田中 伸一郎 (東京藝術大学保健管理センター)

楢円幻想(芝-内海-佐藤)のゲシュタルト変換

ー「死なないであげる」から「死なせることはしない」へー

芝 伸太郎 (クリニックまほら・クリニックもみじ・もみじヶ丘病院)

総合病院(大学病院)で考える精神病理

滝上 紘之 (東京都立松沢病院)

刑事精神鑑定における精神病理学の危機

小畠 秀吾 (国際医療福祉大学大学院臨床心理学専攻)

医療の境界で問われる精神病理—学生相談という「場」から—

古橋 忠晃 (名古屋大学総合保健体育科学センター)

総会・休憩

12:40~

特別講演

14:10~15:20

座長: 佐藤 晋爾 (筑波大学 茨城県地域臨床教育センター)

自己治療の主体の誕生——初期フーコーにおける人間学的精神病理学

蓮澤 優 (九州大学キャンパスライフ・健康支援センター)

臨床心理士資格ポイント申請中の対象講演です

シンポジウム

15:30~18:00

器質と精神病理

座長：兼本 浩祐（中部PNESリサーチセンター）

玉田 有（東京医科大学八王子医療センター）

急性外因反応型の今日的意義

尾久 守侑（慶應義塾大学精神・神経科学教室）

自己免疫性脳炎

船山 道隆（足利赤十字病院神経精神科）

依存症 / 嗜癖の精神病理

小松崎 智恵（茨城県立こころの医療センター）

てんかん：人間機械の現象学

深尾 憲二郎（帝塚山学院大学総合心理学部総合心理学科）

1日目 10月24日(金) B会場 大会議室

一般演題 B-1

10:10~11:00

研修医演題

座長・コメンテーター：熊崎 努（虎の門病院精神科）

B-1-1 「賭け」の精神病理

山内 彩希帆^{1,2)}、西依 康¹⁾

1) 自治医科大学精神医学講座

2) 地方独立行政法人 栃木県立岡本台病院

B-1-2 当事者研究としてのキルケゴールの「無精神性」

畑 朋宏（京都大学医学部附属病院）

一般演題 B-2

11:10~12:00

研修医演題

座長・コメンテーター：堀 孝文（茨城県立こころの医療センター）

B-2-1 “転生”の宗教的観念から夫の遺体放置に至り措置入院となった症例の一考察

萩野 哲伸^{1,2)}、谷口 陽介²⁾、浦田 絵里²⁾、宮本 聖也²⁾、岩下 覚²⁾、古茶 大樹¹⁾

1) 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

2) 社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院

B-2-2 「口から便臭がする」と訴えた10歳代女性

—ECTを契機に主病像が変化した一例に関する精神病理学的検討—

杉本 裕子（岡崎医療刑務所）

一般演題 B-3

15:30~16:20

精神病理学の新しい方向性

座長：前田 貴記（慶應義塾大学医学部精神神経科）

B-3-1 人間の機能とは何か：アルフレッド・ビネの知能研究を通して考える

西依 康（自治医科大学精神科・精神腫瘍部）

B-3-2 精神疾患と道徳的責任の両立性と非両立性—精神医学の多元主義再定義の試み

榊原 英輔（東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学講座）

一般演題 B-4

16:30~17:20

精神病理学と治療の接点

座長：赤崎 安昭（鹿児島大学医学部保健学科）

B-4-1 問題は会話ではないのか？

小林 聡幸（自治医科大学精神医学講座）

B-4-2 不安・抑うつと暦（こよみ）時間との関係を症例に即して考察する

家田 麻紗、杉林 稔（高槻病院精神科）

一般演題 B-5

17:30~18:20

古典再訪

座長：大塚 公一郎（自治医科大学看護学部）

B-5-1 感性性格（Kretschmer E）再考

萩原 徹也（長野県精神保健福祉センター・信州大学医学部精神医学教室）

B-5-2 演題取り下げ

1日目 10月24日(金) C会場 大会議室

一般演題 C-1

10:10~11:00

精神病理学と宗教

座長：菅原 一晃（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院神経精神科）

C-1-1 中動態的自殺と能動態的十字架の死 自死を巡る中動態の機能

千丈 雅徳（五稜会病院）

C-1-2 ラカン理論の聖書的解釈

千丈 雅徳（五稜会病院）

一般演題 C-2

11:10~12:00

先行議論の批判的展開

座長：西岡 和郎（特定医療法人共和会 共和病院）

C-2-1 安永浩のファントム理論、パターン逆転再考—より臨床実践的な精神病理学を志向して

徳田 裕志（高田馬場診療所）

C-2-2 内海健のうつ病論について：佐藤晋爾の発表をうけて

浦田 誠（医療法人社団光風会 三光病院）

一般演題 C-3

15:30~16:20

精神療法を考える

座長：野間 俊一（のまこころクリニック）

C-3-1 「治療者の視線」が創り得る回復の場

—重症精神病からヒステリーへの診断（見立て）変更による回復可能性；

“見立ての治療力”を考える—

吉岡 眞吾（愛知県精神医療センター）

C-3-2 支持的精神療法の意義を再考する

佐藤 茂樹（成田赤十字病院精神神経科）

一般演題 C-4

16:30~17:20

精神病理学と哲学の接点

座長：岡 一太郎（もみじヶ丘病院）

C-4-1 ルートビッチ・クラークスの生命中心の人間学からみたリズム論再考

古城 慶子（国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科）

C-4-2 カントとヤスパースの生命観から考える今後の精神疾患 biology 研究の指針

石井 一裕、鬼頭 伸輔（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

一般演題 C-5

17:30~18:20

木村敏と中井久夫

座長：岩井 圭司（大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科）

C-5-1 免疫学の関係性原理から見た木村敏の「あいだ」理論の解釈

高橋 令子（京都大学精神科神経科）

C-5-2 中井久夫が指し示す摂理について

杉林 稔（愛仁会 高槻病院精神科）

2日目 10月25日(土) A会場 中ホール

一般演題 A-1

9:00~9:50

統合失調症の精神病理

座長：古茶 大樹（聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室）

A-1-1 統合失調症において現れる“他者”とは誰れか？：「異質性（Fremdheit）」の浸潤

前田 貴記（慶應義塾大学医学部精神・神経科）

A-1-2 「まとまりのない言動」は思考の統合不全と等価ではない

植野 仙経（京都大学医学部附属病院精神科神経科）

一般演題 A-2

10:00~10:50

精神療法の新たな展開

座長：十川 幸司（十川精神分析オフィス）

A-2-1 精神療法を指示された ChatGPT の発話内容の検討

深尾 琢（岐阜大学保健管理センター・岐阜大学附属病院精神科）

A-2-2 「治療的回心」(濱田) と「決意性」(ハイデガー)

—『生きる』(黒澤明) に見る精神療法への示唆—

井原 裕（獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科）

教育講演（午前の部）

11:00~12:00

座長：加藤 敏（小山富士見台病院）

たったひとつの、複数の声——モーリス・ブランショと匿名者の問題

高山 花子（明治大学）

臨床心理士資格ポイント申請中の対象講演です

休憩

12:00~13:00

教育講演（午後の部）

13:00~14:00

座長：佐藤 晋爾（筑波大学 茨城県地域臨床教育センター）

キェルケゴール、ニーチェ、太宰治——「絶望」との向き合い方

鈴木 祐丞（秋田県立大学）

臨床心理士資格ポイント申請中の対象講演です

シンポジウム

14:10~17:00

歴史的鑑定事例から学ぶ 第3回 附属池田小事件

座長：堀 孝文（茨城県立こころの医療センター）

関 由賀子（三菱電機本社健康増進センター）

鑑定面接から見えてくるもの

山崎 信幸（京都府立洛南病院）

附属池田小学校事件：何が問題か？

深尾 憲二郎（帝塚山学院大学総合心理学部総合心理学科）

附属池田小学校事件公判鑑定をふりかえる

吉岡 隆一（京都府立洛南病院）

附属池田小事件の犯人宅間守は初期統合失調症だったのではなかろうか

一岡江晃『宅間守精神鑑定書』（亜紀書房、2013）を読んで—

中安信夫¹⁾、関由賀子²⁾

1) 医療法人原会 原病院、2) 三菱電機本社健康増進センター

臨床心理士資格ポイント申請中の対象シンポジウムです

閉会のあいさつ

17:05

2日目 10月25日(土) B会場 大会議室

一般演題 B-6

9:00~9:50

自閉症スペクトラム症再考

座長：芝 伸太郎（もみじヶ丘病院）

B-6-1 妄想性障害は自閉スペクトラム症である

堀切 靖（鹿児島県立始良病院）

B-6-2 「自閉症」の呼称変更について考える

佐々木 雅明（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院精神科）

一般演題 B-7

10:00~10:50

自閉症スペクトラム症の精神病理

座長：清水 光恵（滋賀県立精神保健福祉センター・滋賀県立精神医療センター）

B-7-1 自閉スペクトラム症の精神病理（ヒューム哲学の応用）

新井 慎一（尾山台すくすくクリニック）

B-7-2 神経発達症の精神「病」理学的理解

—情報過多の「まとめあげ」による会話の行き違い—

青木 慎一郎 (岩手県立大学)

一般演題 B-8

14:10~15:00

統合失調症の症候学

座長：古城 慶子 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科)

B-8-1 なぜ統合失調症では「偽者論」が「偽物論」でもあるのか

—虚偽主題と偽物体験が示唆する異次元の真理について(1)—

大塚 公一郎 (自治医科大学看護学部)

B-8-2 双方向的な「注察妄想」

敦賀 光嗣 (青森県立つくしが丘病院)

一般演題 B-9

15:10~16:00

統合失調症の精神病理(2)

座長：針間 博彦 (東京都立松沢病院)

B-9-1 François Tosquelles による統合失調症における死

中川 与四郎 (名古屋市立大学医学部保健医療学科)

B-9-2 統合失調症の症状は、進化の時代が淵源か？

佐々木 康史 (三次病院)

一般演題 B-10

16:10~17:00

統合失調症と治療

座長：川上 正憲 (淑徳大学総合福祉学部)

B-10-1 統合失調症論から考える療育の在り方について

小城 くみこ (医療法人陽善会 坂之上病院)

B-10-2 症例に則して考える遅発パラフレニーの治療構造

高野 毅久 (東北福祉大学せんだんホスピタル)

2日目 10月25日(土) C会場 大会議室

一般演題 C-6

9:00~9:50

心と魂

座長：林 直樹(西ヶ原病院)

C-6-1 心の在り様は社会にどう影響を及ぼすのか？

二者の交流関係という視点からの考察

山本 慎治(秋津こころの相談室)

C-6-2 精神科治療における正しい事実認識という課題

——魂の不在についての悟りを求めて

佐藤 寛(さとうメンタルクリニック)

一般演題 C-7

10:00~10:50

神経症圏 / 治療

座長：西依 康(自治医科大学精神医学講座・精神腫瘍部)

C-7-1 喪失と成熟：摂食障害が語る人生後期の変容

稲川 優多(自治医科大学精神医学講座)

C-7-2 強迫神経症のさまざまな精神病理学的謎

加藤 誠(桜ヶ丘メンタルクリニック)

一般演題 C-8

14:10~15:00

精神病理学の方法論をめぐる

座長：大前 晋(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院本院精神科)

C-8-1 歴史人口学、家族システムと精神病理学との邂逅

松尾 研一郎(季楓会 東神奈川診療所)

C-8-2 精神病理学における欠如モデルについて

総田 純次(大阪公立大学現代システム科学研究科)

精神療法と精神病理

座長：小林 聡幸（自治医科大学精神医学講座）

C-9-1 絶望の臨床

小笠原 将之（関西福祉科学大学心理科学部）

C-9-2 大学卒業をめぐる「嘘」の精神病理に関する考察

—力動的精神療法の経験から—

岡田 暁宜（名古屋大学総合保健体育科学センター・

名古屋大学大学院医学系研究科精神病理学・精神療法学）

第48回日本精神病理学会 準備委員

大会長 佐藤 晋爾（筑波大学 / 茨城県立中央病院）
副大会長 新井 哲明（筑波大学精神医学）
堀 孝文（茨城県立こころの医療センター）
事務局 富田 悦子（筑波大学）
スタッフ 茨城県立中央病院看護局
国際医療福祉大学心理学部の皆さん

プログラム委員

委員長 堀 孝文（茨城県立こころの医療センター）
（以下五十音順）
小島 秀吾（国際医療福祉大学心理学部）
川上 正憲（淑徳大学総合福祉学部）
熊崎 努（虎の門病院精神科）
小林 聡幸（自治医科大学精神医学講座）
関 由賀子（三菱電機本社健康増進センター）
玉田 有（東京医科大学八王子医療センター）
田中 伸一郎（東京藝術大学保健管理センター）

ホームページ作成 讃岐 勝（筑波大学）

ポスター作製 佐藤 麗華